

平成28年10月25日
中部経済産業局

平成28年度緑化優良工場等中部経済産業局長表彰の 受賞者が決定しました(報道機関の皆様へ)

工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境向上に顕著な功績のあった工場等を表彰する「緑化優良工場等中部経済産業局長賞」について、今年度、2件の受賞工場が決定しましたので、お知らせします。

なお、表彰式については、平成28年11月1日（火）13時30分から当局2階大会議室にて行いますので、ぜひ取材をお願いします。

1. 受賞工場（詳細別紙）

◆明光化成工業株式会社 岩村工場 （法人番号 3200001024355）

（所在地）岐阜県恵那市岩村町大字飯羽間字下本郷2835番地の2

◆株式会社西野製作所 かほく工場 （法人番号 4220001004916）

（所在地）石川県かほく市浜北イ50番地



2. 表彰式

（日時）平成28年11月1日（火）13：30～

（場所）当局 2階大会議室（名古屋市中区三の丸二丁目5番2号）

※取材可能ですので、取材にお越しいただく場合は、下記連絡先まで御連絡ください。

（お問い合わせ先）

中部経済産業局 地域経済部 地域振興課長 新川

担当：長屋

電話：052-951-2716（直通）

(参考) 緑化優良工場等中部経済産業局長表彰制度の概要

○目的

工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境向上に顕著な功績のあった工場等を表彰することにより、工場緑化の一層の推進を図り、もって国民経済の健全な発展に資することを目的としています。

○選考方法

管内各県及び政令指定都市の推薦に基づき、緑地等の割合、配置、内容及び維持管理並びに周辺地域環境との調和等に対する努力効果を総合的に勘案し「緑化優良工場等中部経済産業局長表彰」として受賞者を決定しています。

○受賞数

本制度は、昭和58年度から実施されており、今回の2件を含めて管内で52工場の受賞となります。

METI Chubu

<http://www.chubu.meti.go.jp/>

明光化成工業株式会社 岩村工場（法人番号 3200001024355）

【工場概要】（平成28年4月現在）

本社所在地：岐阜県恵那市明智町字大久手1001-228

工場所在地：岐阜県恵那市岩村町大字飯羽間字下本郷2835番地の2

工場操業年月：平成2年7月

工場敷地面積：17,181m²

工場従業員数：48名（常勤）

事業内容：輸送用機械器具製造業（アシストグリップ）

受賞歴：平成23年度（一財）日本緑化センター会長賞

（ 岩 村 工 場 ）



◆緑化の特徴

- 明光化成工業株式会社では、「良い環境は良い人を育む」との考えのもと、緑化を人材育成の場、人と人、社会と地域のコミュニケーションツールとして位置づけ、社員全員参加による手づくりの緑化活動を積極的に推進している。
- 今回受賞の岩村工場では、小学校の跡地を利用して、学校時代に植栽されたメタセコイア等の高木をランドマークとして活かしながら、周辺環境に調和した緑化を進めている。
- 工場敷地西側の竹林や山林には、社員参加により遊歩道を整備し、モミジの移植などを行うことにより、里山としての環境整備に取り組んでいる。

◆新たな課題への取組

- 工場敷地内の四季折々の花木を撮影したカレンダーを作成し、来訪者等に配布するほか、地元の恵那農業高等学校と共同した花壇整備や、こども園の園児を里山に招待してタケノコ掘り体験等を実施している。
- 明知鉄道飯羽間駅や大正村クロスカントリーコース、岩村町の史跡である岩村城址の定期清掃活動等を行っている。
- 来客用駐車場を地被植物で緑化した駐車場に改良するほか、食堂の窓側にアサガオを育てて遮光し、室温の上昇を抑える等、環境負荷低減活動に取り組んでいる。



高校生との花壇づくり



里山遊歩道の整備



岩村城址の清掃活動



花壇満開の様子



里山でのタケノコ掘り体験



緑化駐車場

株式会社西野製作所 かほく工場 (法人番号 4220001004916)

【工場概要】 (平成28年4月現在)

本社所在地：石川県金沢市北安江3丁目8-5

工場所在地：石川県かほく市浜北イ50番地

工場操業年月：昭和47年4月

工場敷地面積：28,000m²

工場従業員数：46名（常勤）

事業内容：金属工作機械製造業

受賞歴：平成21年度（一財）日本緑化センター会長賞



(かほく工場)

◆緑化の特徴

- 株式会社西野製作所かほく工場では、操業当時からある2本の柚木（ゆのき）をシンボリックツリーとして、四季折々に咲く様々な種類の花を育てている。
- 隣接する河北台中学校等、周辺環境との調和を最優先課題として、社員全員で緑化活動を推進している。
- 工場敷地内には、200本の桜があり、満開の時期には、敷地内を一般開放し、地域のお花見の名所として親しまれている。
- 4,000m²以上ある工場敷地内の芝生広場は、社員により年々緑化を進めており、キジなどの野鳥が訪れる姿もよく見受けられ、巣作りすることもある。地域住民のソフトボールの練習やバーベキュー大会等にも利用されている。

◆新たな課題への取組

- 工場入口に「不要の樹木を譲り受けます。大切に育てます」という看板を立てて、地域住民から連絡があった際には、社員自ら現地へ出向き、毎年10本以上の樹木を工場敷地内へ移植して大切に育てている。
- 工場敷地内の地質は、植物の成長には適していない砂地であるが、一部、赤土に入れ替える等、土壤の改良にも取り組んでいる。



社員による芝張り作業



周辺環境との調和



桜満開の様子



シンボリックツリー柚木（ゆのき）



芝生広場でのソフトボール練習



譲り受け樹木の工場への移植